



地域資源保全情報記録システムを活用した業務支援について

(1/2)

今回紹介する団体：水土里ネット北海道

取組概要

内容：水土里ネット北海道では、多面的機能支払交付金において「地域資源保全情報記録システム(WebGIS)」を構築・運用し、活動組織の事務作業の効率化・負担軽減を図った。

経緯：①多面的機能支払交付金における活動組織による活動の位置や内容の記録、財産譲渡の書類作成、役員交代時の引継ぎ資料等に係る事務作業の負担、および書類の煩雑さが懸念されていた。

②このため、容易に活動情報をGISで登録・蓄積し、関連位置図・写真帳を含めた各種帳票類の作成を自動化、および関係団体で活動情報を共有する仕組みを構築。

③この「地域資源保全情報記録システム」により、活動情報入力作業を効率化、事務負担の軽減を図り、また活動情報を一元的に管理することにより整合性のある各種帳票書類の管理が容易となっている。

【記録システムの概要】

- ・作業日報
- ・機能診断管理簿
- ・位置図
- ・写真帳 等



記録システム ※WebGIS(ブラウザシステム)

活動情報に基づく
自動帳票化

活動情報の登録
※簡単入力



活動組織

利用環境、
利用場所を
問わず利用可



いつ
どこで
だれが
何を

- ◆活動情報の容易入力
- ◆活動情報の蓄積
- ◆活動情報等の共有
- ◆施設GISデータの整備
- ◆事務負担の軽減

【システム参加団体】
活動組織：493
市町村：92

情報の共有化



関係市町村・他

期待される効果

- 活動内容・位置および写真等を一体的に蓄積・管理することで整合性の高い活動内容の把握が可能(引継ぎや第三者への説明が容易)
- 活動情報の入力は基本的に選択方式のため、情報の蓄積が容易に行え、一連の関連帳票類は自動的に作成されることで事務負担の軽減を図ることが可能
- 蓄積された情報を基に、活動計画の見直し、地域資源保全管理構想の策定、事業評価へ有効活用が可能



今後の展開

- 金銭出納簿等の帳票への対応
未対応の帳票に対応し、2重登録等の問題を解消
- 推進協議会を含めた密なデータ連携
必要書類の申請・許可、活動状況把握等の連携強化を図る
- システム、ツールの一本化
複数ツールでの運用の煩雑さを一本化することで解消

■お問い合わせ先

北海道土地改良事業団体連合会 (地域支援課) 011-206-6209(直通)
農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(愛宕、沖) 03-6744-2201(直通)